

補足

地形図の使い方

○地形図の使い方①～縮尺と地図記号～

(地形図 ***)とは、土地の高低や土地の使われ方など、さまざまな地表面の情報を表した地図のこと
→地形図は国土地理院が発行

(縮尺 ***)とは、実際の距離を縮小した割合のこと

→地形図には、5万分の1や2万5千分の1などの縮尺がある

	5万分の1	2万5千分の1
縮尺		
地図上の1cmは、実際の距離では何mか？	$1\text{cm} \times 50000 = 50000\text{cm} = 500\text{m}$	$1\text{cm} \times 25000 = 25000\text{cm} = 250\text{m}$
1kmは、地図上では何cmか？	$1\text{km} = 1000\text{m} = 1000\text{m} \div 500\text{m}$ 答え 2cm	$1\text{km} = 1000\text{m} = 1000\text{m} \div 250\text{m}$ 答え 4cm

(地図記号 ***)とは、地形図で地形や建物、土地の利用状況などを表すための記号のこと

<おもな地図記号>

II	田		市役所・東京都の区役所		神社
▽	畠		町・村役場		寺院
○	果樹園		官公署		小・中学校
△	くわ畠		警察署		高等学校
⋮	茶畠		消防署		病院
Q	広葉樹林		郵便局		図書館
Λ	針葉樹林		工場		博物館・美術館
山	荒地		発電所・変電所		老人ホーム
竹	竹林		城跡		三角点
々	ささ地		史跡・名勝・天然記念物		水準点

※地図記号は国土地理院ホームページから引用。くわ畠と工場は 2013 年に廃止

○地形図の使い方②～等高線と断面図～

(等高線 ***)とは、地表の同じ高さの所を結んだ線のこと

→等高線には種類があり、間隔が広いほど傾斜がゆるやかで、間隔が狭いと傾斜が急である

<等高線の種類>

	5万分の1	2万5千分の1	記号
計曲線	100mごと	50mごと	———
主曲線	20mごと	10mごと	————

○地形図の使い方③～新旧の地形図の比較～

地形図は、明治時代から何年かおきに作成

→地域の現在と昔の様子を比較することができる

○地形図の使い方④～「地理院地図」～

国土地理院では、インターネット上に電子国土基本図を公開

→「地理院地図(電子国土Web)」というサイトで閲覧できる